

# 令和6年度 運輸安全マネジメントに関する取り組み

ワカサ交通株式会社

## I. 安全方針

ワカサ交通株式会社は、輸送の安全の確保が旅客自動車運送事業者の社会的使命と深く認識し、全社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識の徹底を図り安全マネジメント体制の維持、継続的な改善に努めるため、次の通り安全方針を定め周知する。

1. 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、また、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
2. 運輸安全マネジメントを確実に実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
3. 輸送の安全に関する情報について積極的に公表します。
4. 安全マネジメントサイクルを全社員が一丸となって確実に実施し、PDCAサイクルの徹底により、継続的に見直しと改善に努めます。

〔PLAN…仕組み作り・DO…実行・CHECK…内部監査・ACT…見直し〕

## II. 安全重点施策

安全方針に基づき、次の項目を踏まえた取り組みを重点施策とする。

1. 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全を管理する規定に定められた事項を遵守すること。
2. 輸送の安全に関する費用の支出、投資を積極的かつ効率的に行う。
3. 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講ずる。

4. 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、これを共有する。
5. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画を作成し、これらを適確に実施する。
6. 系列会社の高浜交通株式会社と相互に協力し連携して輸送の安全性の向上に努める。

### Ⅲ. 令和6年度重点取り組み項目

①乗務員1人1人の安全行動を確実に実践する。全車両に導入したデジタルタコグラフとドライブレコーダーのデータを基に、運転診断レポートを作成し、各乗務員のヒヤリハット診断など、各乗務員の運転の癖を表示したレポートを毎月全乗務員に配布し、又、毎月の運転ランキングを社内に掲示し各乗務員の自覚を促す。

②乗務員に対しての運転指導

指導運転手による乗務指導を計画的に行う。

### Ⅳ. 令和6年度 輸送の安全目標

1. 令和5年度事故発生状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日現在）

令和5年	重大事故	有責事故	無責事故
4/1～9/30	0件	4件(内人身事故0件)	1件
10/1～3/31	0件	7件(内人身事故0件)	1件
合計	0件	11件(内人身事故0件)	2件

◎有責事故の内訳

(1) 後退時の損傷	(確認不足による事故)	4件
(2) 側面の損傷	(判断不足による事故)	2件
(3) 前面の損傷	(注意不足による事故)	1件
(4) 下部の損傷	(グレーチングの跳ね上げによる事故)	1件
(5) 鹿の飛び出しによる事故		3件
合計		11件

※令和5年度において、自動車事故報告規則第2条に規定する事故は発生していません。

◎月別事故の内訳

1. 4月1件、7月1件、8月2件、10月3件、11月3件、1月1件、合計11件の有責事故があり、その内自動車保険で対応した事故は2件ありました。前年19件に比べ6割弱と大幅に減少しましたが、今年度も後退時の接触事故が多く発生しており、安全確認見落としによるヒューマンエラーの原因が多く、今後とも安全確認の徹底、安全運行を第一に「かもしれない運転」を心掛け、令和6年度は有責事故件数10件未満を目標に、全員で達成します。

2. 安全管理の規定に基づく問題点を全員でチェックし、必要に応じて問題の解決に向けた対策を講じます。特に、毎年後退時の接触事故が多く発生しており、駐車場内の事故防止の為、後退時のバックモニターの確認、周囲の状況を把握する安全確認を徹底し、安全目標を達成します。

3. 輸送の安全に関する教育・研修の計画を作成し、これを的確に実施します。  
特に令和6年度は、ドライブレコーダー映像を用いた「危険予知トレーニング」教材を使った研修を実施します。

①乗務員安全教育 毎月1回開催

②ドライバーミーティング 毎月1回開催

③事故当事者への指導 事故発生時

※初任運転者に対する実技指導教育に関しては、別紙参照

V. 令和5年度 輸送の安全に関する実績額

項目	令和5年度実績額	備考
新型車両購入費	38,852,500	設備投資計画に基づく新型車両導入費用
交通安全対策機器	1,650,660	デジタルタコグラフ維持管理費用
新点呼制度 対応設備費用	767,470	2024年度の新点呼制度に対応する為の、 常設カメラ等新点呼システム導入費用
車内クリーニング及び 車内設備の点検・補修費用	4,673,570	シートベルト等車内設備の保守点検及び 車内清掃
乗務員の健康対策費用	314,280	乗務員の健康維持の為の、町内トレーニングジム法人契約費用
安全手当支給額	2,135,000	乗務員の安全運行の奨励に係る費用
合計	48,393,480	(単位：円)

# ワカサ交通株式会社安全管理者組織図

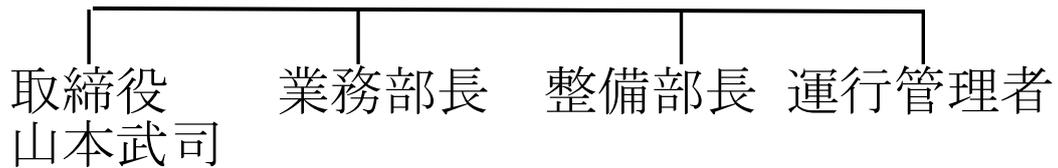
安全管理総責任者  
代表取締役 山本清行



安全統括管理者  
専務取締役 小山篤



運行管理者



運行管理代務者

